

事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

令和 4 年 2 月 10 日時点

事務事業名	19200 育児支援事業	予算科目	会計 一般	款 4	項 1	目 3	所管課	健康づくり課	担当班	母子保健班	
基本施策	7 子育て支援の充実	根拠法令	母子保健法、食育基本法、地域保健法等				事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業(重点施策)重2 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input checked="" type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業			
施策の展開	16 結婚・子育て環境の整備	戦略事業	74 育児支援事業								
施策の展開		戦略事業									

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	安心して育児に取り組めるよう、相談支援体制を整え(妊娠・出産・子育て～思春期までの「各種学級、教室及び相談」を開催)、育児不安の軽減を図り、育児の仲間づくりを支援する。	母子保健法や各種計画に基づき、合併以前から各育児支援事業が実施されていた。合併後には、1市3町で実施していた育児支援事業の内容の統一を図り、実施している。	少子化・核家族化・地域との繋がりの希薄化が進み、またインターネット等で情報が簡単に手に入る時代となり、育児不安を抱えている方が多い傾向にある。その中で専門的かつ継続的な支援が出来るよう育児支援事業を実施していく必要がある。	各種学級、教室及び相談の参加者より、「よかった」「安心した」「また利用したい」「継続して欲しい」といった肯定的な意見が多く聞かれている。また、子育て学級参加者においては、その後自主的育児サークル結成に至る経緯もあり、仲間作りを希望している方も多い。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算) 単位:千円	
1.臨時雇賃金	
2.委託料	208 心理相談員派遣委託料
3.消耗品費	199 各育児支援事業の指導用教材費、調理実習費
4.報酬	648 保健事業嘱託医報酬、心理相談員・言語聴覚士・保育士・歯科衛生士・助産師・保健師への給与
5.その他	73 両親学級通知用ハカリ・食事調査通知、発達相談・育児相談等通知
② 特定財源の内訳(2年度の決算) 単位:千円	
1.国庫支出金	
2.都道府県支出金	
3.地方債	
4.その他	

事業費	1.臨時雇賃金	千円	1,003	1,136	1,156		
	2.委託料	千円	228	210	200	208	282
事業費計(A)	3.消耗品費	千円	201	172	187	199	165
	4.報酬	千円	138	138	115	648	1,503
財源	5.その他	千円	20	35	133	73	236
	事業費計(A)	千円	1,590	1,691	1,791	1,128	2,186
財源	1.国庫支出金	千円					
	2.都道府県支出金	千円					
財源	3.地方債	千円					
	4.その他	千円					
財源	5.一般財源	千円	1,590	1,691	1,791	1,128	2,186

前年度増減理由	コロナによる教室関係事業が中止または縮小開催となったため。
---------	-------------------------------

従事職員数 常時 7 人 最大 人 × 目 = 延べ 人

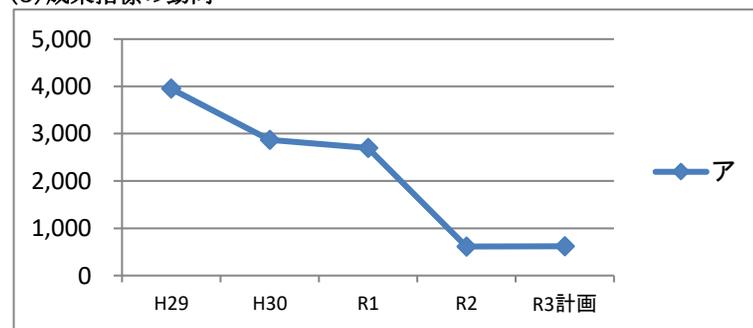
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)	
	2年度実績(2年度に行った主な活動) ① 両親学級② 子育て学級③ 離乳食教室④ 育児相談⑤ 発達相談⑥ 歯科相談⑦ 親子遊び教室⑧ 巡回歯みがき教室⑨ 母子保健訪問指導・面接・電話相談⑩ 母乳相談	ア 育児の仲間づくり支援事業延べ実施回数(両親学級、子育て学級、離乳食教室、親子遊び教室、赤ちゃんふれあい体験、育児サークル実施回数)	回	170	134	151	31	50
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 相談件数(育児相談、発達相談、歯科相談、面接・電話相談延べ件数、母乳相談)	件	1,919	1,972	1,980	2,315	2,212
	対象意図 乳幼児と保護者 育児不安の軽減が図れる様、仲間作りが出来る	④ 成果指標名	ア 育児の仲間づくり支援事業延べ参加者数(両親学級、子育て学級、離乳食教室、親子遊び教室、赤ちゃんふれあい体験、育児サークル参加者数)	人	3,949	2,868	2,697	614

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	成果向上余地 かなりある	評価優先度	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	普通	ある程度ある		(4)		
	小さい	ほとんどない				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	コロナウイルスによる集団教室及びサークル等の実施が中止せざるを得ない状況下にあったため
	② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下 成果指標イ <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 比較 28年度 29年度 30年度 1年度 2年度 29年度 30年度 1年度 2年度 3計画 ア 168 Δ1,081 Δ171 Δ2,083 6 イ
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)	時期 通年 内容 新型コロナ終息までは育児サークル及び赤ちゃんふれあい体験は休止。その他相談や教室は人数制限をし、密にならない内容で実施していく。 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他() コロナウイルスによる事業の中止や規模縮小が継続せざるを得ない状況下にあるが、親子の孤立化を防ぐため個別支援の充実に努める。	